



開拓札幌 | 札幌の家の困りごと相談

FREE GUIDE

SNOW REMOVAL & HAULING IN SAPPORO

札幌の除雪・排雪 損しない業者選びと相場 まる分かりシート



「雪、どこに頼めばいいの？」そんな時に。

札幌で家の困りごとの相談窓口を営む私たちが、
除雪・排雪で“損をしない”ための相場と選び方をまとめました。

＼ この資料で分かる3つ ／

- 1 札幌の相場早見表（雪かき・排雪・雪下ろし・雪庇）
- 2 3つの頼み方（市の制度／シーズン契約／都度依頼）の使い分け
- 3 契約前に業者へ聞く5つの質問（追加料金・保険・雪の置き場）

無料

印刷して、チェックにお使いいただけます



開拓札幌

札幌の家の困りごと相談窓口 | 札幌市全域対応

kaitaku-sapporo.com

LINEで無料相談を受付中

INTRODUCTION

雪の困りごとは、 「どこに頼むか」で9割決まる。

毎朝の玄関前の雪かき、置き場のなくなった雪山、屋根からせり出した雪庇——札幌の冬の困りごとには、実は「市の制度」「民間のシーズン契約」「1回だけの都度依頼」という3つの頼み方があります。

ところが、この3つは対象になる雪も、費用も、申込みの時期もまったくの別もの。ここを知らずに探し始めると、「対象外の制度に問い合わせる時間を失う」「秋の受付を逃して、割高な都度依頼を繰り返す」といった“損”が生まれます。私たち「くらしの味方 開拓札幌」は、札幌の家の困りごとの相談窓口です。このシートに、除雪・排雪で損をしないための相場と選び方を1枚ずつまとめました。

1

市の制度 パートナースhip排雪・福祉除雪

負担は軽いものの、対象が限られます。パートナーシップ排雪は**町内会単位・生活道路の雪**が対象で、自宅の雪山は運べません。福祉除雪は**要介護度などの要件を満たす世帯**だけが対象で、排雪はなし。

2

民間のシーズン契約 除雪・排雪をひと冬おまかせ

自宅の間口・敷地の雪をひと冬まるごと任せられます。毎回の雪かきや雪山の心配から解放される一方、**先着順・定員制**。受付は夏に始まり、秋には埋まり始めます。

3

都度依頼（スポット） 必要な時だけ1回ずつ

大雪の日や雪山が育ちきった時だけ頼めて、契約は不要。ただし**大雪の直後は依頼が殺到**し、希望日に来てもらえないことも。回数が増えるとシーズン契約より割高になりがちです。

札幌の家の困りごと相談窓口

くらしの味方 開拓札幌 代表 成田 風輝

札幌市内の業者15社の公表料金を横断調査した、サービス別の中心レンジです（2026年7月時点）。
「言い値かどうか」を見分けるモノサシとしてお使いください。

サービス	札幌の目安	ひとこと
雪かき・除雪 (1回だけの都度依頼)	1回 5,000～10,000円 時間制は1時間7,000～10,000円	大雪の日だけ・たまにだけ頼みたい人向け
間口・敷地除雪の シーズン契約	ひと冬 44,000～68,000円	料金公表は少数派で、見積り対応が主流
シーズン排雪 (ひと冬10回前後)	ひと冬 40,000～72,000円	角地・幅広の道路に面した家は上振れ
スポット排雪 (4tダンプ1台)	1回 6,600～11,000円	育ちきった雪山は2～3台になることも
屋根の雪下ろし	1回 10,000～35,000円 時間制は1名1時間12,000円前後～	屋根の広さ・雪の量・排雪の有無で変動
雪庇・つらら落とし	戸建て1面 15,000～30,000円前後	高所作業。ご自身での作業は危険です
市の福祉除雪 (対象世帯のみ)	ひと冬 5,000円／10,000円 非課税世帯5,000円・課税世帯10,000円・生活保護世帯は無料	要介護度などの要件あり。排雪はなし

読み方のポイント 実際の金額は、間口の広さ・雪の置き場・お住まいのエリアで変わります。上のレンジから大きく外れる見積りが出たら、理由を確認しましょう。シーズン契約の出動基準は「新雪10cm」が業界標準（判定時刻は業者によって異なります）。期間は12月上旬～3月中下旬・計10～12回の設計が主流です。

除雪・排雪は、頼むタイミングで「選べる幅」がまったく変わります。多くの業者が先着順・定員制のため、動くのが遅いほど選択肢が減っていきます。1年の流れはこうです。

7～9月

シーズン契約（除雪・排雪）の受付が始まる。見積り・比較のベストシーズンで、選択肢がいちばん多い時期。ホームセンターの排雪受付も夏が中心です。（7月から受付を始める業者もあります）

8月中旬
～9月中旬

市の「福祉除雪」の申込み期間。高齢や要介護のご家族がいるお宅は、まずここを確認。申込みは各区の社会福祉協議会・区役所保健福祉課などで。（令和8年度から要件が「年齢」→「要介護度」ペースに変わっています）

10～11月

シーズン契約の受付終盤。人気の業者・地域から順に埋まっていきます。まだ間に合いますが、ここが実質のラストチャンス。

12月
～1月上旬

市のパートナーシップ排雪の申込み（町内会経由）。民間のシーズン契約は空き枠しだい。スポット依頼は随時頼めますが、大雪の日は混み合います。

1～2月

雪山が育ちきり、スポット排雪の需要ピーク。依頼が殺到し、希望日に来てもらえないことも。この時期は「早い者勝ち」になりがちです。

結論：ひと冬まかせるなら、10月までに見積りを。

「今年は雪が少ないかも」と様子を見ているうちに、枠は埋まっていきます。秋のうちに見積りだけでも取っておくと、いざという時に慌てずに済みます。

1

「見積りの金額が、最終金額ですか？」

☐ 聞いた

トラブルでいちばん多いのが**あとの追加請求**です。ドカ雪の日・回数の上限超え・重い雪など、**追加料金が発生する条件**を契約前に確認し、書面に残してもらいましょう。「一式〇円」だけの見積りは要注意。

2

「どんな日に、何時までに来てくれますか？」

☐ 聞いた

シーズン契約は毎日来るわけではなく、「**新雪10cm以上**」で**出勤が業界標準**。判定時刻や作業順は業者ごとに違います。「朝の出勤までに終わるか」は生活を左右するので、出勤条件と作業時間帯を必ず確認を。

3

「雪は、どこに置きますか（運びますか）？」

☐ 聞いた

除雪は**敷地内に雪を寄せる・積むのが基本**で、雪山を外へ運び出すのは「排雪」という別サービスです。雪の置き場所を先に決めておかないと、「思っていた仕上がりと違う」の原因に。置き場が狭いなら排雪込みの契約を検討。

4

「損害賠償保険に入っていますか？」

☐ 聞いた

重機での作業中に、外構・カーポート・車を傷つけてしまう可能性はゼロではありません。万一のときに補償されるかどうかは大きな差。**保険加入を明記・説明できる業者**は、それだけで信頼の目安になります。

5

「契約内容を、書面でもらえますか？」

☐ 聞いた

期間・回数・作業範囲・キャンセルの条件を**書面（またはメール等の記録）**で残しましょう。口約束のまま前払いだけを求められたら、いったん立ち止まって大丈夫。誠実な業者ほど、条件を明確にしてくれます。



「うちは、どの頼み方が合う？」 その一言から、お聞かせください。

「うちの間口だと、いくらくらい？」「この雪山、ダンプ何台分？」—— そんなご相談を、LINEで無料でお受けしています。雪山や間口の写真を1枚送っていただくだけで大丈夫。しつこい営業は一切いたしません。

 **LINEで無料相談する**

LINE : lin.ee/YpRFf1p



エリアから一緒に探す

札幌の除雪・排雪業者は、対応エリアが限られていることがほとんど。お住まいの区・地域に対応する業者探しをお手伝いします。



追加料金の条件まで確認

「見積り＝最終金額か」「どんな時に追加が出るか」。この資料の5つの質問を、体制や条件を確認しながらご案内に活かします。



写真1枚から相談OK

雪山や間口の様子を撮って送るだけ。「まずは相場を知りたい」という段階のご相談も歓迎です。



★ 札幌生まれ・地域に根ざして

札幌生まれの運営者が、特定の業者に肩入れせず、ご事情に合う頼み方と業者をご案内します。